



2023年1月26日

各位

会社名 インパクトホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 福井 康夫
(コード番号：6067 東証グロス)
問合せ先 代表取締役副社長 寒河江 清人
(TEL. 03-5464-8321)

セルフオーダーTOTALシステム事業の会社分割（吸収分割）による
承継に関する吸収分割契約締結のお知らせ

本日、当社及び当社子会社である株式会社 impact mirai（以下、「impact mirai」といいます。）の取締役会において、ワールドピーコム株式会社（以下、「ワールドピーコム」といいます。）のセルフオーダーTOTALシステム事業（以下、「SOTS 事業」といいます。）を会社分割により impact mirai が承継すること（以下、「本吸収分割」といいます。）に関する吸収分割契約書（以下、「本吸収分割契約」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本吸収分割の目的

当社グループの主力事業の一つである IoT ソリューション事業は、消費財メーカーをはじめ飲食・小売・サービス業向けに小型デジタルサイネージを年間約 26 万台提供しており、高付加価値商材である PISTA（フィールド・トラッキング・ソリューション）をローンチしたことで、オンライン化によるコンテンツ自動更新や人感センサー・顔認識エンジンを活用した店頭棚前顧客情報取得の流れを加速させており、これによりデジタルサイネージ本体の端末販売だけでなく、オンライン ASP サービス利用料などの継続的な収益が見込めるストック型ビジネスの構築も推進しております。

近年では、デジタルサイネージのファブレスメーカーとして、消費財メーカー向けを中心に販促用小型サイネージの提供をしており、これにより、従来は広告メディア事業者が運用してきたサイネージ広告メディアのインフラや、飲食チェーン向けテーブルトップオーダー端末等、非販促領域へも事業領域を拡大しております。

ワールドピーコムは、外食大手である株式会社コロワイドのグループ会社として飲食店向けのソリューション提供の豊富な実績を有しており、タッチパネル方式のセルフオーダーシステムである「メニューくん」の提供を中心として、飲食店の非接触・省力化を促進する各種ソリューションを提供しております。

このたび、外食産業向けのテーブルトップオーダーシステムの販売において実績及び評価の高いワールドピーコムの SOTS 事業を当社グループに取り込むことで当社グループの業績拡大に向けた取り組みが可能になるものと考え、本吸収分割契約の締結にいたしました。

2. 本吸収分割の要旨

(1) 本吸収分割の日程

本吸収分割契約取締役会決議日 (当社、impact mirai、ワールドピーコム)	2023年1月26日
本吸収分割契約締結日 (impact mirai、ワールドピーコム)	2023年1月26日
定時株主総会決議日 (impact mirai)	2023年3月23日(予定)
臨時株主総会決議日 (ワールドピーコム)	2023年3月23日(予定)
本吸収分割効力発生日	2023年5月1日(予定)
金銭交付日	2023年5月1日(予定)

(2) 本吸収分割の方式

impact mirai を吸収分割承継会社とし、ワールドピーコムを吸収分割会社とする吸収分割です。

(3) 本吸収分割に係る割当ての内容

本吸収分割の分割対価として、impact mirai よりワールドピーコムに対して1,050百万円の金銭を交付する予定です。

(4) 本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本吸収分割により増減する資本金

本吸収分割による資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

SOTS 事業に関する資産、負債その他の権利義務のうち、本吸収分割契約書に定めるものを承継いたします。

(7) 債務履行の見込み

本吸収分割において承継会社が負担すべき債務については、履行の見込みに問題はないものと判断しております。

3. 本吸収分割に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社は、本吸収分割に係る割当ての公正性・妥当性を確保するため、アレスコ税理士法人を第三者算定機関として選定し、本吸収分割の対象事業である SOTS 事業の価値の算定を依頼いたしました。当社は、第三者算定機関による算定結果を参考に、デューデリジェンスの結果等を踏まえ、対象事業である SOTS 事業の状況及び将来の見通し等を総合的に勘案し、慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記「2. 本吸収分割の要旨」の「(3) 本吸収分割に係る割当ての内容」に記載の内容が妥当であるとの判断に至り、本吸収分割契約を締結することを決議いたしました。

(2) 算定に関する事項

① 算定機関の名称並びに上場会社及び相手会社との関係

本吸収分割の対価の算定にあたって公正性・妥当性を確保するための手続の一環として、当社は、アレスコ税理士法人を第三者算定機関として選定し、本吸収分割の対象事業である SOTS

事業の価値の算定を依頼いたしました。なお、アレスコ税理士法人は、当社、impact mirai 及びワールドピーコムに関連当事者には該当せず、当社、impact mirai 及びワールドピーコムとの間で重要な利害関係を有しておりません。

② 算定の概要

アレスコ税理士法人は、将来の事業活動の状況を評価に反映するためにディスカунテッド・キャッシュ・フロー法を採用して、本事業の価値算定を行っており、ワールドピーコムの作成した事業計画に基づいて事業価値を 995 百万円から 1,187 百万円までと算定しております。なお、算定の前提となる事業計画において、大幅な増減益は見込んでおりません。

以上を踏まえ、当社は、アレスコ税理士法人による算定結果を参考に、対象事業である SOTS 事業の状況及び将来の見通し等を勘案した結果、最終的に上記「2. 本吸収分割の要旨」の「(3) 本吸収分割に係る割当ての内容」に記載の分割対価が妥当であると判断しました。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

該当事項はありません。

(4) 公正性を担保するための措置

該当事項はありません。

(5) 利益相反を回避するための措置

該当事項はありません。

4. 本吸収分割の当事会社の概要

	分割会社	承継会社
(1) 名称	ワールドピーコム株式会社	株式会社 impact mirai
(2) 所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目 2 番 1 号	東京都渋谷区渋谷二丁目 12 番 19 号東建インターナショナルビル 8F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐古田 雅士	代表取締役社長 佐藤 英宣
(4) 事業内容	セルフオーダートータルシステム事業 システムサービス事業 カスタマーサービス事業	セルフオーダートータルシステム事業
(5) 資本金	75 百万円	1,000 万円
(6) 設立年月日	2000 年 5 月 1 日	2022 年 1 月 28 日
(7) 発行済株式数	2,690.2 株	1,000 株
(8) 決算期	3 月 31 日	12 月 31 日
(9) 従業員数	82 人	0 人
(10) 主要取引先	カップ・クリエイト株式会社 元気寿司株式会社 株式会社アトム	—
(11) 主要取引銀行	—	—
(12) 大株主及び持株比率	株式会社コロワイド MD 98.00%	イパホールディングス株式会社 100.00%
(13) 上場会社と当該会社の関係		
資本関係	該当事項はありません。	当社の完全子会社となります。
人的関係	該当事項はありません。	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。	該当事項はありません。

関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	当社の完全子会社であるため、関連当事者に該当します。	
(14) ワールドピーコム の最近 3 年間の財務状態及び経営成績			
決算期	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期
純資産	137 百万円	181 百万円	320 百万円
総資産	1,994 百万円	1,571 百万円	1,636 百万円
1 株当たり純資産	51,258.50 円	67,644.17 円	119,273.64 円
売上高	3,771 百万円	2,945 百万円	2,803 百万円
営業利益	206 百万円	99 百万円	210 百万円
経常利益	184 百万円	85 百万円	198 百万円
当期純利益	120 百万円	44 百万円	138 百万円
1 株当たり当期純利益	44,650.01 円	16,385.67 円	51,629.47 円
1 株当たり配当金	0.00 円	0.00 円	0.00 円
(15) impact mirai の最近 3 年間の財務状態及び経営成績 impact mirai は、設立 1 年未満であり、決算期を迎えていないため過去実績はありません。			

(注) impact mirai は設立 1 年未満であり、特筆すべき事業活動実績はありません。

5. 承継する事業部門の概要

(1) 承継する事業の内容

ワールドピーコムが営む事業のうち、外食産業向けのセルフオーダーシステム及び周辺機器の企画・製造・販売を行う、SOTS 事業を承継いたします。

(2) 承継する事業の経営成績

売上高 1,635 百万円 (2022 年 3 月期)

(3) 承継する資産、負債の項目及び金額 (2022 年 9 月末時点)

資産		負債	
流動資産	423 百万円	流動負債	8 百万円
固定資産	245 百万円	固定負債	0 百万円
合計	668 百万円	合計	8 百万円

(注) 承継する資産及び負債の金額は、2022 年 9 月末時点の帳簿価額に基づく見込み額であり、実際に承継する金額は上記から変動する可能性があります。

6. 本吸収分割後の承継会社の状況

本吸収分割による承継会社の名称、所在地、代表者、事業内容（本吸収分割の対象となっているものを除く）、資本金、決算期について現時点において変更の予定はありません。また、純資産及び総資産については、現時点で確定しておりません。

7. 会計処理の概要

本吸収分割に関する会計処理については、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第 21 号）及び「企業会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 10 号）を適用し、パーチェス法による会計処理を予定しております。本吸収分割により発生するのれんの概算金額は 390 百万円を見込んでおり、2021 年 12 月期の親会社株主に帰属する当期純利益の 32.2%に相当します。なお、当該のれんは 2023 年 12 月期第 2 四半期に計上される見通しです。

8. 今後の見通し

本吸収分割による当社の連結業績に与える影響は軽微であると判断しておりますが、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。なお、本日付けで「2022年12月期通期連結業績予想の下方修正に関するお知らせ」を開示しておりますので、そちらをご参照ください。

以上